

国立情報学研究所と科学技術振興事業団の情報関係事業の 連携協力の基本的なあり方について

平成13年8月31日
NII及びJSTの連携・協力
に関する連絡協議会

1 両機関の特色

国立情報学研究所（以下「NII」）は、情報学に関する総合研究と学術情報流通のための先端的基盤の整備・開発を目的として研究と事業を一体的に遂行。人文系を含め広く学術に関するデータベース等を提供。

科学技術振興事業団（以下「JST」）は、科学技術の振興のための基盤整備を図るため、我が国における科学技術情報に関する中枢的機関として、内外の科学技術情報を網羅的に収集提供することを目的。科学技術全分野の情報を網羅するデータベース等を提供。

2 具体的な連携協力の在り方

(1) 文献情報

文献案内情報・・・網羅性、信頼性、効率性等の観点から、国として積極的な関与が必要であり、原則JSTの事業に一元化。

文献全文情報・・・民間を含め多様な作成主体が存在。国は民間事業になじまない部分を中心としてNIIの事業として継続。

文献所在情報・・・大学図書館等との連携を重視し、NIIの事業として継続。

(2) ディレクトリ情報

研究者、研究機関等の研究活動に関するデータベースについては、総合性、研究成果の社会的還元、システムの整備状況等を踏まえて、JSTに統合。ただし、NIIの関連事業の円滑な実施に留意。

(3) 学会等の情報発信に対する支援事業

個別の学会等のニーズに即したきめ細かい支援事業を実施するために電子ジャーナル事業はJSTの事業として一元化。

(4) 情報ネットワーク事業

ネットワーク利用機関との調整を図りつつ、平成14年度から段階的にNII/SINETへの統合。なお、ITBL用IMnetについては平成13年度からNIIのスーパーSINETに統合。

(5) 新たな連携協力事業

その他、JSTの文献案内情報とNIIの文献所在情報のリンクなど、NIIとJSTの相互連携を密にして利用者の利便性の向上を図る等の措置。